

# はねだみらい

第1号

2018年8月発行

発行／編集：羽田みらい開発株式会社



イメージ



イメージ

常に最先端で最適な情報をキャッチアップして、付加価値創造を目的とした委員会を設立することでこれらの事業を推進。「共通事業」の分野では、バスネットワークの構築やカーシェアリングなどの導入により、交通結節機能が強化される予定だ。

2018年5月9日、「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（第一期事業）」を実施する羽田みらい開発株式会社（羽田みらい開発）は、大田区との間で本整備事業に係る事業契約を締結した。先端産業拠点・クールジャパン発信拠点の整備や運営を行い、約50年にわたるまちづくりをスタートさせる。第一期事業としては、研究開発施設や先端医療、日本文化

この第一期事業では、特徴的な3つの事業を展開する。先端産業拠点の形成に向けた「先端産業事業」、クールジャパン

発信拠点の形成に向けた「文化産業事業」、交通結節機能強化やエリアマネジメント推進に向けた「共通事業」の3つだ。

## 大田区と事業契約を締結。未来志向のまちづくりがはじまる

2018年5月9日、「羽田

体験施設、飲食施設、イベント

ホールなど多彩な用途に対応

直結となる。東京、日本の玄関口として国内外に情報を発信できるポテンシャルを最大限に活かし、未来志向の新たな体験や価値を創出するまちづくりを目指している。

## 2020年のまち開きに向けて3つの事業を軸に展開

# 天空橋駅直結羽田空港跡地第1ゾーン

# まちづくり、始動

羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（第一期事業）の開発が遂に始動。先端医療や文化創造の拠点となる複合施設が生まれる。

## from おおた

### 2020年のまち開きに期待

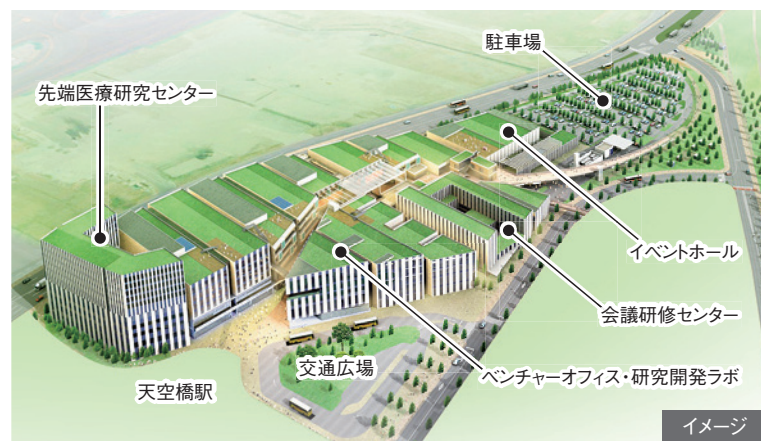
大田区長 松原忠義氏



羽田空港跡地第1ゾーンの整備は、過去の歴史的経緯を踏まえて検討してまいりましたが、第一期事業については日本を代表する企業によるグループとまちづくりを実施することとなりました。

この地の特性を活かした、世界と地域をつなぐ「新産業創造・発信拠点」を形成し、区内中小企業をはじめとした区内への波及効果や雇用の増加など、「地域経済の活性化」や「国際競争力の強化」に貢献できるよう、官民連携により着実に事業を進めてまいります。

## 羽田みらい開発ってどんな会社？



イメージ

「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（第一期事業）」を遂行するために設立された事業会社です。鹿島建設、大和ハウス工業、京浜急行電鉄、日本空港ビルディング、空港施設、東日本旅客鉄道、東京モノレール、野村不動産パートナーズ、富士フィルムという各業界のトッププランナー9社が集結。大田区との連携を深め、各社の強みと専門的な知見を活かして、新しいまちづくりを担います。

## ロードマップ（予定）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
イベント		●羽田神社夏季例大祭「羽田まつり」：7/27～29 ●穴守稲荷 献灯祭：8/24～25 ●国際都市おおたフェスティバルin「空の日」羽田2018：9/29		●第32回オリンピック競技大会（2020/東京）（7/24～8/9） ●東京2020パラリンピック競技大会（8/25～9/6）		グランドオープン
事業	羽田みらい開発設立 基本協定締結	●事業契約締結：5/9		●定期借地開始（50年間）		
工程	設計		工事	工事		

※本紙の内容は現時点の想定に基づくものであり、今後変更されることがあります。

お問い合わせ先：羽田みらい開発（株）Tel.03-5544-1248（平日9:00～12:00・13:00～15:00）2018年8月1日開設予定